

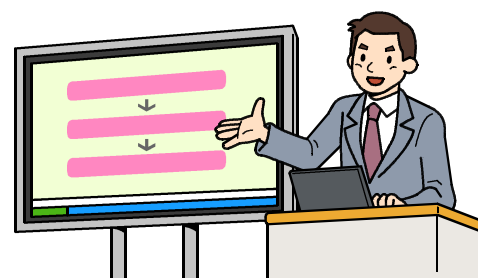
もに太くんを活用した放射線教育のご提案（小中高校向け）

ガンマ線のエネルギースペクトルを簡単に測定できる「ANSeeNもに太くん」は、新たに始まった放射線教育にも最適です。これまで放射線教育をお考えでなかった先生も、簡易測定器（はかるくん）などで進められてきた先生も、ガンマ線の「違い」を簡単に測定できる「ANSeeNもに太くん」は文部科学省の「放射線等に関する副読本」に沿って、また、さらに展開した授業が可能です。低価格ですが大学クラスの高性能機です。

USBでお手持ちのWindows PCに接続するだけ （専用ソフト付属）

付属の専用ソフトをインストールしたWindowsパソコンにUSBで接続すれば準備はOK。パソコンなので教室のプロジェクターや大型ディスプレイに接続すれば、教壇での実験実演でも生徒全員にわかりやすくグラフを見せることができます。「生徒自身の放射線実験が危険かも」という保護者様のご意見にも先生のみが実験することで対応できます。

*XP以降のWindowsに対応しますので、お手持ちのWindowsパソコンを有効にご活用いただけます。最新のWindows8にも対応しています。

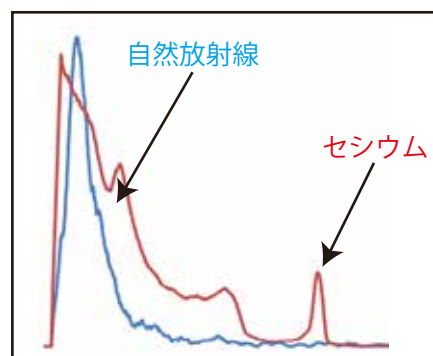


教壇での実験実演

大型ディスプレイで生徒に提示が可能
先生が代表して実験することで生徒自身の放射線実験が危険という保護者様にも対応

高性能機の自校所有で授業以外にも活用できます

教育委員会様での全市一括導入や高等学校様での複数台導入などを実現できる低価格を実現しました。低価格でもガンマ線のエネルギースペクトルが測定できる大学クラスの性能で、セシウムと大気中のラドンを分離して計測可能。測定されたガンマ線が何に起因しているかを学ぶことができ「正しくはかって適切に怖がる」本来の放射線教育ができます。また、期間の限られるレンタルでなく自校で所有できるため、それぞれの学校・学年での理科の授業の進捗に合わせた無理のない実験時間の配置が可能。また、授業時間以外にも理科クラブでの長時間測定や定点観測などの課外教育にも先生方の裁量で自由に発展的活用ができます。



ガンマ線のエネルギースペクトル例

ガンマ線のエネルギーを取得可能
大気中の自然放射線とセシウム137を区別でき何に由来の放射線か区別可能です

導入・保守も容易です

高性能CdTe半導体検出器を採用しました。基本的に経年劣化する部品がないため保守や校正は原則不要です。学校や教育委員会様のように保守点検費用の予算化が難しい場合にも安心してご採用いただけます。

導入初期には文科省貸出機「はかるくん」との併用からスタートし、順次「ANSeeNもに太くん」の年次導入をすすめることで、毎年度の予算を最低限に抑えつつ年次ステップアップで効果的な授業展開をしていくことも可能です。

教育向け教材（生徒用・教師用）を付属

小学校、中学校、高等学校の各教育機関にあわせた放射線教育向けの教材プリント原版（生徒配布用）を付属。文部科学省配布の放射線副読本に準拠し、付属の教師用テキストとあわせて効率的な授業の組み立てが可能です。

さらに深い授業のためには、先生向けに静岡大学電子工学研究所との協力によるセミナー（有料）を準備中です。